



大利中だより

4号 文責:校長 新莊悌男

「大利中の主眼」 しゅがん

一学期も残すところ2週間となりました。今は、中体連大会やコンクールに向かって、生徒は、必死に練習に頑張っているところです。特に3年生は、一人一人、自分の持っている力を全部出し切ってほしいと心から願っています。頑張れ3年生!

さて、学校は多くの取組を行っています。教科の授業、道徳、総合の時間、学校行事、生徒会活動、部活動、地域へ出向く行事等、結構忙しい教育現場の状況です。そこで、改めて「公教育の場である中学校がなすべきことは何だろうか?」と考えてみました。極端に言いますと、次の二つと思っています。

一つ目は、子どもを自立した人間に育てること。
二つ目は、子どもにしっかりとした学力を身に付けさせること。

の二つです。そのために心がけていることは、「規律ある学校生活の中で自主性・自律性を重んじ、学校行事や部活動などで充実感や感動を味わわせること」もう一つは「教科書を読ませ、その内容をきちんと教え、課題を与えて学習を深め、反復練習により学習内容を定着させること」です。つまり、生活習慣の確立と、授業の充実が大切ということです。この二つのことを「大利中の主眼」と名付けました。

*主眼とは、「主要な目的」という意味です。

「大野城市いじめ防止条例」

ご案内の通り、国のレベルで「いじめ防止対策推進法」が制定され、その規定に基づき大野城市でも「いじめ防止条例」が制定されました。また、学校でも、「いじめ防止基本方針」を作成し、第三者を含む「いじめ防止対策委員会」もできました。学校だけではなく、家庭や地域を含んで、すべての人の関わりの中でいじめをなくす取組です。

特に、大野城市では「教育サポートセンター」が設置され、保護者や学校に対して支援していただいています。学校としては、心強い限りです。

学校へのいじめに関する相談窓口は、その内容に合わせて、学級担任、学年主任、部活動顧問、管理職です。

「キラリさん紹介」

キラリカードの取組は、下大利小で始まり、大利小でも行われ、そして、大利中でも少しずつ広がりを見せています。報告されたキラリさんを紹介します。

◇4月頃と比べて、キリッとしている姿に成長した2年生全員にキラリ。

◇バレーボール部でレシーブの練習中、一球一球、全力で魂のこもった声を出し続ける2年生N君にキラリ。

◇ケガしているにもかかわらず、野球部の練習で思いやりを発揮して、みんなの裏方に徹する3年生S君にキラリ。

◇大利中バージョンの大きな挨拶、1年生全員にキラリ。

◇生徒会の係活動での動きが鋭い3年生にキラリ。

◇仲間の靴箱に目を配り、そっとそろえてあげる気働きを発揮している1年生数人にキラリ。

「生徒による授業評価って何?」

学校で行っている評価は多岐にわたっています。それは、教師が行う自己評価、生徒が行う自己評価、保護者の方による評価、第三者の方による評価などです。今回は、その中でも「生徒による授業評価」についてお知らせします。生徒による授業評価は、客観性や妥当性を高める方策の一つです。生徒が、日々の授業をどのようにとらえているのか、それを教師が知ることは、授業を改善するにあたって大変参考になります。独り善がりの授業を反省させられることや、生徒に励まされ自信を得ることもあります。生徒による授業評価を真摯に受け止め、活発な授業づくりを目指して、夏季休業中に研修します。



「発表力旺盛な3年生
理科の授業の様子」



「個に応じた指導がなされている3年生英語の授業の様子」

8月・9月の行事

8月 28日(木) 登校日、小学校6年生の部活動体験

8月 29日(金) 登校日、夏休み課題テスト、小学校6年生の部活動体験

9月 1日(月) 「大利の日」(あいさつ運動)、始業式

*毎月1日と15日は、「大利の日」(あいさつ運動)の日です。